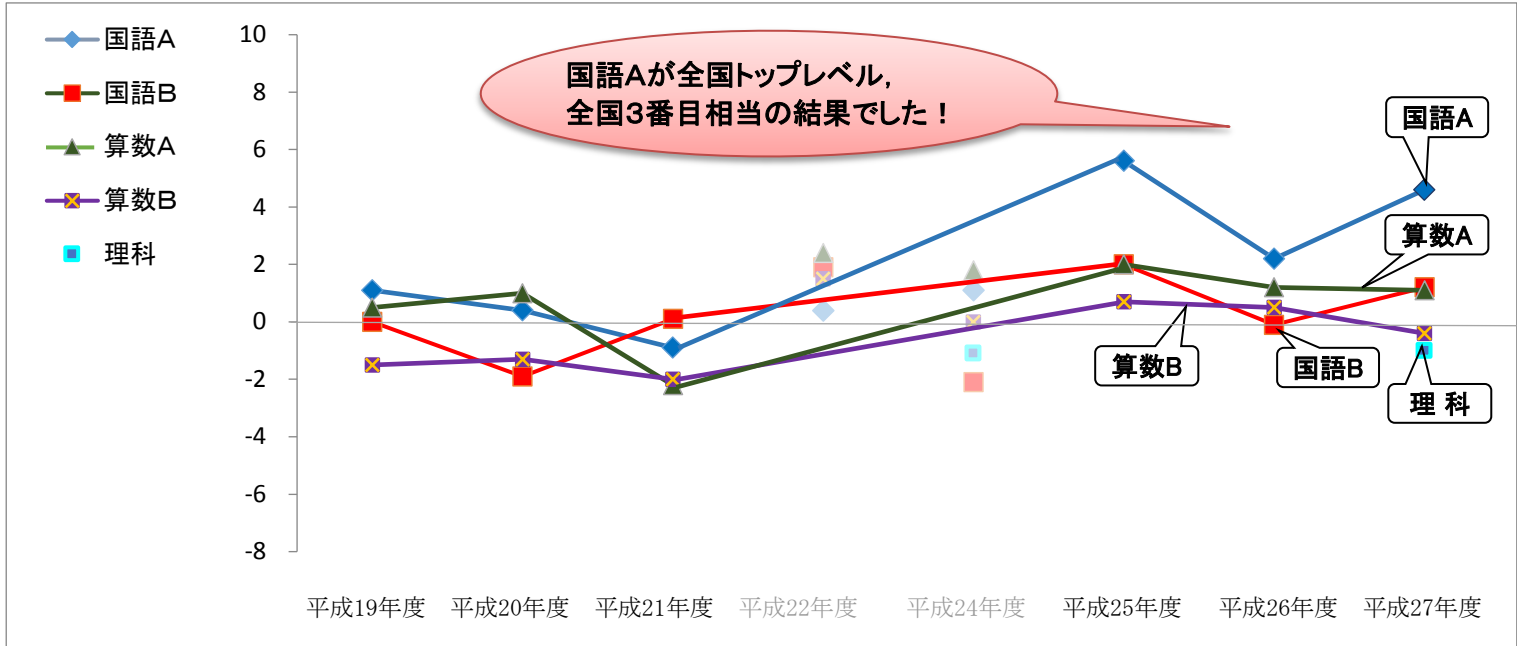


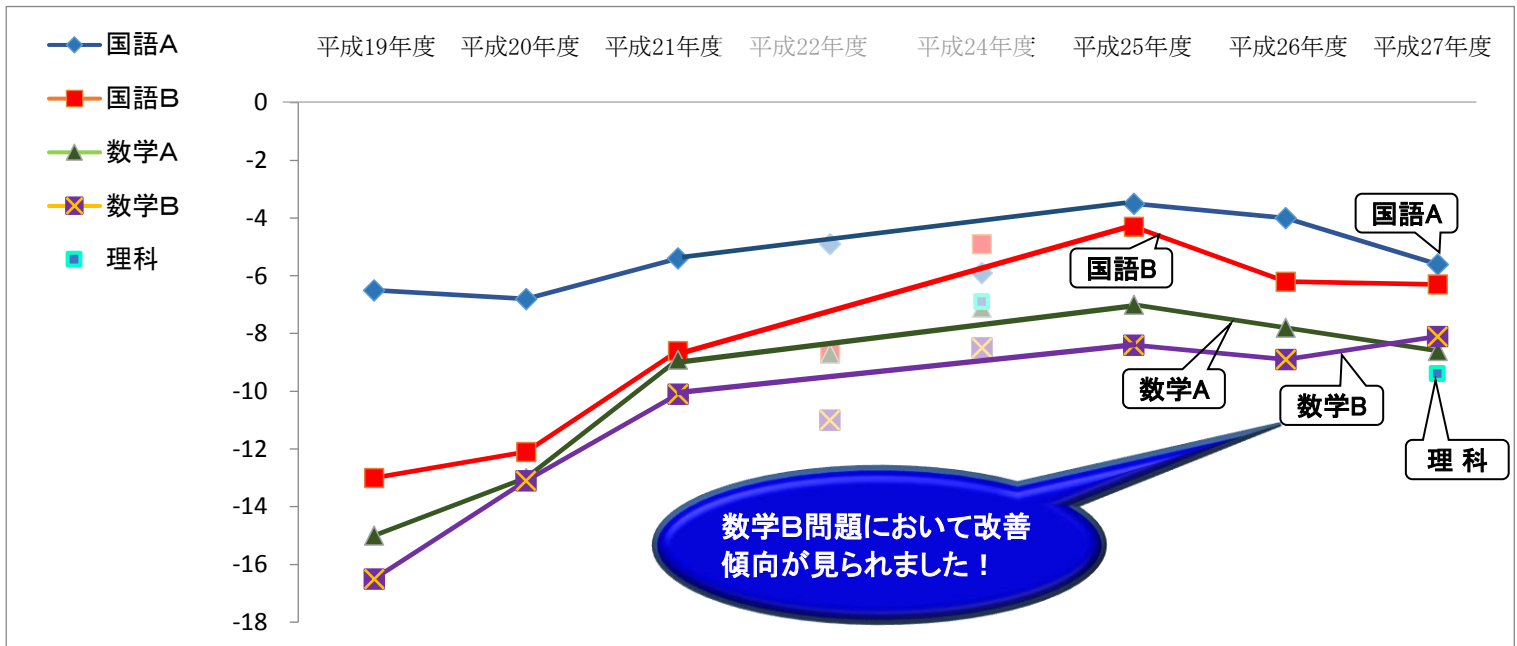
平成19～27年度における高知市平均と全国平均の差の推移

小学校



高知市の小学校の平均正答率は、国語A・B及び算数Aにおいて全国平均を上回り、特に国語Aでは、プラス4.6ポイントと全国トップレベルとなりました。算数Bと理科では全国平均正答率を若干下回っていますが、小学生については全国平均レベルを確実に維持しています。調査結果から見えた成果としましては、国語Aにおいて、領域で言う「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の結果が非常に良く、また、昨年度の調査結果にて課題であった国語の領域でいう「読むこと」が、国語A・Bにおいて全国平均正答率を上回る結果となりました。また、本年度の結果は、両教科のB問題記述式において、全国平均正答率を上回る結果となりました。課題としましては、算数A・Bの「図形」領域において、昨年度と比べ改善はされているものの、依然として全国平均正答率を下回っており、さらなる手立てが必要とされます。これらの課題を改善するため、「子どもが分かる・楽しい授業をめざした『授業改善』」や「意図的な学びなおしの場の設定」等といった取組について、この調査結果を元に組織的に検証を行い、着実な改善を図っていきます。

中学校



高知市の中学生の平均正答率は、数学Bにおいて改善が見られるものの、他の教科では数ポイント下回っており、依然として厳しい状況が続いております。一方で、本年度生徒質問紙調査では、中学校で「学校の授業以外で全く勉強しない」生徒の割合が全国平均を下回るといった成果も見られており、学習習慣が定着してきている生徒が増えてきています。こうしたこともふまえて、中学校において今回の学力調査で全国平均レベルまで引き上げられなかったことを、更にしっかり検証し、改善に向けた取組を行っていきます。